

観光分野の現状と課題

社会情勢の変化

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた海外渡航や入国規制に伴い、**観光分野は大きな打撃**を受けている。
- 高度情報化社会の進展により、観光分野での **ICT(Information and Communication Technology:情報通信技術)の活用**が求められている。
- ICT 進展及びコロナ禍などを背景に、**DX(デジタルトランスフォーメーション)推進による観光サービス変革や観光需要創出**の動きが出始めている。

政策動向

① 観光白書(令和2年閣議決定)

- 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が落ち込んだ。
- 感染状況の終息に向けて、**伝統文化、芸術、歴史など、日本各地の観光資源の力**による国内旅行の需要喚起及びインバウンドの回復を図る。

② 東京都観光産業振興実行プラン(平成31年策定)

- 様々な国・地域の外国人、高齢者、障害者等の多様な旅行者が、**安心かつ快適に観光を楽しむような環境を整備**している。
- **地域の特色や夜間の時間帯を活かした観光資源の開発・発信**を進めることによって、東京ならではの観光の楽しさを多様な旅行者に提供している。
- 観光・レジャー目的、ビジネス目的の両面において、再訪意図を高められるように、世界的な認知度の向上を図っている。

③ 「文の京」総合戦略(令和2年策定)

- 区民等と協働して、**区の観光資源の新たな魅力を創出**する取組を推進するとともに、**多様な媒体を活用**しながら国内外に広く発信していく。
- ポストコロナにおける国内外からの観光客の受入のため、**多様な人材を観光ボランティアとして養成**していく。

点検・評価と実態調査結果からわかったこと

① 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

- 観光写真コンクールは、SNS の活用や部門の新設等により、**区内外からの応募を促進**する必要がある。
- **シビックセンター25階展望ラウンジの新たな活用**等により、「文の京」ならではの魅力を見出し、向上させていく必要がある。
- 来訪者の区内の回遊性や利便性を向上するため、**観光リーフレットの掲載コンテンツの充実**を図るとともに、**WEB との連動**等による情報発信の強化が必要である。
- 令和元年実施の「文京区アカデミー推進計画に関する実態調査」の区民向け調査(以下「区民向け調査」)では、観光振興に活用するとよいと思う区の資源は、「**六義園**」(78.4%)、「**湯島天満宮**」(75.1%)、「**東京ドーム**」(70.4%)「**森鷗外**」・「**夏目漱石**」(68.9%)、「**花の五大まつり**」(64.7%)が多く、文化・スポーツ分野などとの連携が期待される。

② 情報の収集・活用による来訪の促進

- **新型コロナウイルス感染症対策**を講じながら、観光ガイドの豊富な知識を生かした新たな事業展開が必要である。
- 区民や来訪者のニーズを捉えた観光土産品の開発により、**区の地域ブランド向上**を図ることが必要である。
- フィルムコミッション事業は、**民間施設の情報等を収集**し、本区の魅力の発信につなげることが必要である。
- 「食めぐりスタンプラリー」の開催等をきっかけにし、さらなる**交流自治体との住民間交流の促進**が必要である。
- 区民向け調査では、海外または国内の観光に関する情報入手方法をみると、「**旅行サイト**」(61.2%)と最も多く、次いで「**旅行ガイドブック**」(48.5%)、「**家族や友人などの口コミ**」(37.2%)となっている。

③ 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

- **地域団体とのさらなる連携強化**によりポストコロナにおける各種まつりの復興や観光振興が必要である。
- 観光協会との密な連携や適切な事業経費の補助等により、本区の観光振興の更なる発展と地域の活性化を図る必要がある。
- 外国語対応による観光まちづくりの進展により、国内外問わず来訪者が**おもてなしの心を体感**できるようになることが必要である。
- 区民向け調査では、観光振興にあたりより力を入れるべき取組をみると、「**歴史的建造物や美しいまち並み等の保全・活用・創造**」(63.1%)が最も多く、次いで「**区内の移動手段の充実や観光案内板等、まちを歩いて楽しめる環境づくり**」(52.3%)、「**文京区の埋もれた魅力の発見・活用**」(34.7%)となっている。

次期計画に向けた現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ウイズコロナ、ポストコロナにおいて、国内外の旅行者が性別、年齢、国籍等に関わらず、誰もが安心して楽しめる新たな生活様式に即した受け入れ体制を整える必要がある。
- 観光振興の推進にあたっては、本区の豊富な観光資源の保全・活用や既存事業の拡充を進めるとともに、新たな魅力の創出に向けた取組や、ICT の活用等による事業の実施等が求められる。
- また、国内外からの観光客をおもてなしの心で迎え入れるため、引き続き多様な人材による観光ボランティアの養成も必要である。
- 本区への関心や認知度を高め旅行者の来訪を促進するためには、WEB などの様々な媒体を通じた情報発信等が重要である。また、観光情報の主な入手方法として「家族や友人などの口コミ」が上位に挙げられていることから、SNS や YouTube などによる拡散を促す取組も必要である。
- 今後は、区民や区内事業者及び様々な分野との連携による交流人口や関係人口を創出する取組により、本区を訪れた旅行者が一度だけの来訪に終わらず、再訪につなげることが重要である。

この部分に対するご意見を
資料 2 にご記入ください。

- ・今後5年間の施策を検討する上で、考慮したほうがよいと思われることをご記入ください。
- ・この資料から読み取れることだけでなく、ご自身の経験からのご意見でも結構です。